

埼玉県知事に申請しようとするものです。

○指定管理者の指定について
(原案可決)

市が所有する公共施設の指定管理に關し、令和4年度末をもって指定管理期間が満了するため、行田市斎場、行田市産業文化会館、古代蓮の里などの各公共施設について、令和5年度以降の指定管理者を新たに指定するものです。

〔主な質疑〕

問 行田市斎場の指定管理者が新たな事業者に変更されるが、現在の指定管理者との違いは何か。

答 選定に当たっては、選定委員会において、プレゼンテーションを実施し、運営体制、利用者サービスの向上、業務遂行能力、緊急時の対応などの審査項目を審査基準に基づき、評価した結果であり、僅差であった。

問 古代蓮の里指定管理に關し、1者のみの応募をどのように評価しているのか。

答 候補者の選択肢の拡大と競争原理の観点から、多くの事業者に応募してもらうことが望ましいと考えていたが、

新型コロナウイルス感染症拡大による観光業への影響が要因の一つであると考ええる。



古代蓮の里

**補正予算
補正総額
4億6255万円余り**

○令和4年度行田市一般会計補正予算 (原案可決)

エネルギーや食料品などの物価高騰の影響を受けた住民や事業者に対し、国から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が追加措置されたことに伴い、本市において物価高騰対策を実施するための所要経費を計上するほか、9月補正後の諸情勢の変化に伴い、各種経費を措置するもので、歳入歳出それぞれ4億6255万円を追加し、予算の総額を291億153万9千円とするものです。物価高騰対策に係る歳出と

して、民生費では、18歳以下の児童を養育する子育て世帯に対し、本市独自の給付金を支給するための所要経費を措置するものです。

衛生費では、水道事業において、物価高騰対策として令和4年8月から11月検分分までの4カ月実施している水道基本料金の無料化を引き続き令和5年1月検分分まで2カ月継続するための所要経費を措置するものです。

9月補正後の諸情勢の変化に対応する歳出の主なものとして、総務費では、ふるさと納税寄附金の増加に伴い不足が見込まれる経費のほか、デマンドタクシーの利用者の増加に伴う助成費、法人市民税の中間申告に係る還付金の増加に伴う過誤納金還付金、国のマイナポイント事業の対象となる個人番号カードの申請期限が9月末から12月末まで延長されたことに伴う経費をそれぞれ措置するものです。民生費では、県内の法人から高齢者の健康増進を目的として寄附金500万円を受領したことに伴い、総合福祉会館の改修経費を措置するほか、

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期限が9月末から12月末まで延長されたことに伴う不足額、生活保護費では、医療扶助費及び住宅扶助費の増加に伴う不足額をそれぞれ追加措置するものです。

なお、これらの歳出を賄う財源は、国庫支出金、寄附金及び繰越金により措置するものです。

〔主な質疑〕

問 水道基本料金無料化に關し、繰越金を増額すれば、3カ月無料でできるが、なぜ2カ月としたのか。

答 今回の無料化は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して行う事業であり、実施期間として令和5年3月末までに完了する必要があるので、また、水道の検針が2カ月ごとであることから2カ月とした。

問 ふるさと納税寄附金の追加補正に關し、返礼品に係る記念品費974万5千円と歳入のふるさと納税寄附金2784万円を比較すると国が示している還元率30%を超過しているが、その理由は何か。

答 記念品費には、返礼品の商品代金と送料の合計額を積算しているが、還元率30%以下という基準については、返礼品の商品代金のみを対象とするもので、送料は含まれない。

**算
令和3年度
一般会計決算を認定**

9月定例会で継続審議とした令和3年度行田市一般会計歳入歳出決算認定は、決算審査特別委員会による審査を経て、12月定例会初日に賛成多数をもって認定しました。

議員提出議案

**条例
期末手当の引き上げ**

○行田市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に關する条例の一部を改正する条例 (原案可決)

人事院勧告等を踏まえた本市一般職及び特別職の給与改定等に準じて、市議会議員の期末手当についても改定を行うため、条例の一部を改正するものです。